

## アクセサリ・ガイド

Agilent B1500A : 半導体デバイス・アナライザ

Agilent 4155C/4156C : 半導体パラメータ・アナライザ

Agilent E5270B : 8スロット・パラメトリック高精度測定用  
メインフレーム

Agilent E5260A : 8スロット・パラメトリック高速測定用  
メインフレーム

Agilent B2200A : fAリーク・スイッチ・メインフレーム

Agilent B2201A : 14チャンネル低リーク・スイッチ・  
メインフレーム

Agilent E5250A : 低リーク・スイッチ・メインフレーム



Agilent Technologies

## 目次

1. はじめに	3
2. フィクスチャとの接続	4
2.1. ジャンパ・ケーブル	4
2.2. ソケット・モジュール	5
3. SWMとの接続	6
3.1. GNDU	6
3.2. SMU	7
4. プローバとの接続	8
4.1. GNDU接続	8
4.2. SMU/CMU接続	9
5. アクセサリ	13
5.1. CMUアクセサリ	13
5.2. B1500A周辺機器	15
5.3. コネクタ・タイプ	16
5.4. ケーブル	18
5.5. コネクタ・プレート	20
5.6. アダプタとコネクタ	24

## 1. はじめに

このガイドでは、Agilentの半導体パラメトリック測定器にプローバを接続する方法を紹介します。

また、このガイドには、Agilentのさまざまな半導体パラメトリック測定器（B1500、B2200/B2201、E5250、E5260/E5270、4155/4156、41501など）のアクセサリに関する情報も掲載されています。

図1.1. B1500AとCascadeプローバ



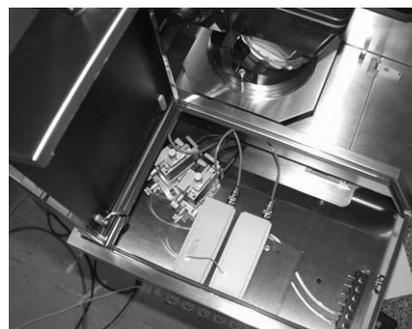
図1.2. B1500AとVectorプローバ



図1.3. B1500AとSussプローバ



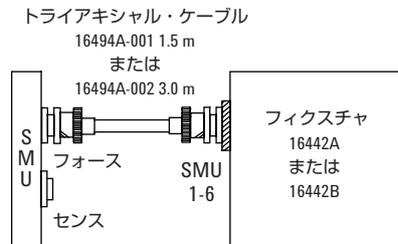
図1.4. プローブ・ステーション上のASU



## 2. フィクスチャとの接続

16442Aおよび16442Bテスト・フィクスチャには6個のトライアキシャル入力ポートがあります。図2.1に示すように、これらのポートはSMUのフォース・ポートに16494Aトライアキシャル・ケーブルを用いて接続できます。

図2.1. SMUのフィクスチャへの接続



## 2.1. ジャンパ・ケーブル

表2.1. ジャンパ・ケーブル

### ミニ・バナナ・ピン・プラグ



### 16442A/16442Bのオプション

16442A-811/16442B-811、黒 (2個)、青 (2個)、赤 (2個)

### パーツ番号

16442-61600、黒 (1個)  
16442-61601、赤 (1個)  
16442-61602、青 (1個)

### ピン・プラグ - ピン・プラグ



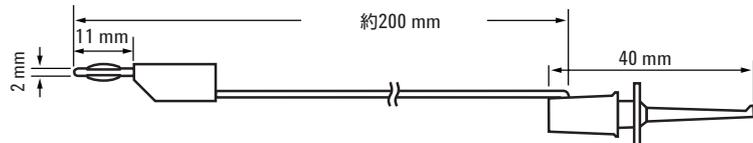
### 16442A/16442Bのオプション

16442A-812/16442B-812、黒 (2個)、青 (2個)、赤 (2個)

### パーツ番号

16442-61603、黒 (1個)  
16442-61604、赤 (1個)  
16442-61605、青 (1個)

### ミニ・バナナ - ミニ・クリップ



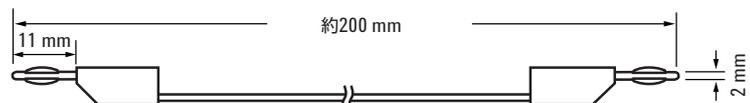
### 16442A/16442Bのオプション

16442A-813/16442B-813、黒 (2個)、青 (2個)、赤 (2個)

### パーツ番号

16442-61606、黒 (1個)  
16442-61607、赤 (1個)  
16442-61608、青 (1個)

### ミニ・バナナ - ミニ・バナナ



### 16442A/16442Bのオプション

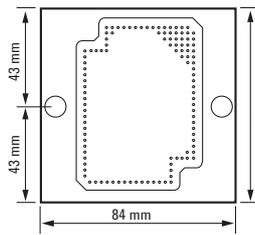
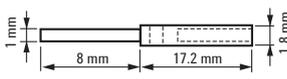
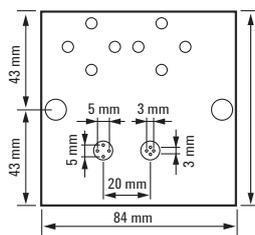
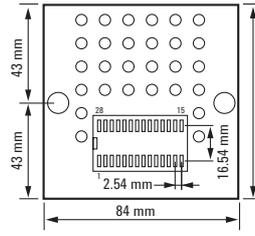
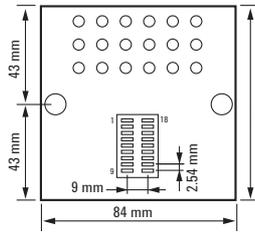
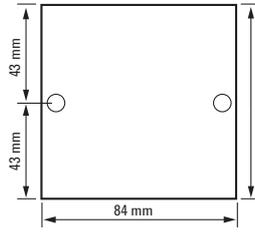
16442A-814/16442B-814、黒 (2個)、青 (2個)、赤 (2個)

### パーツ番号

16442-61609、黒 (1個)  
16442-61610、赤 (1個)  
16442-61611、青 (1個)

## 2.2. ソケット・モジュール

表2.2. ソケット・モジュール

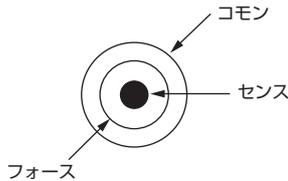
N1254A-204	0.1インチ	 <p>このソケット・モジュールは、あらゆるデバイス（コンポーネント、DIPIC、小規模回路）の測定に使用できます。</p>
16442A-801/16442B-801	0.1インチ	
N1254A-205	0.075インチ	
16442A-802/16442B-802	0.075インチ	
N1254A-206	0.05インチ	
16442A-803/16442B-803	0.05インチ	
N1254A-200		 <p>このソケット・モジュールには、3リード/4リード・バイポーラ・トランジスタおよびFETの測定用のトランジスタ・ソケットが2つあります。</p> <p>最大電圧：200 V</p>
16442A-821/16442B-821		
N1254A-201		 <p>このソケット・モジュールには、28ピンのデュアル・インライン・ソケットがあります。</p> <p>最大電圧：230 V</p>
16442A-823/16442B-823		
N1254A-202		 <p>このソケット・モジュールには、18ピンのデュアル・インライン・ソケットがあります。</p> <p>最大電圧：230 V</p>
16442A-822/16442B-822		
N1254A-207		 <p>この絶縁ボードは漏れ電流がきわめて小さいので、超低電流測定に最適です。</p>
16442A-800/16442B-800		

### 3. SWMとの接続

#### 3.1. GNDU

SMUにはフォース（センス）、ガード、コモンがあるのに対して、GNDUには図3.1のようにセンス、フォース、コモンがあります。GNDUを標準のトライアキシャル・コネクタに接続するには、GNDU-ケルビン・アダプタが必要です。

図3.1. GNDU端子



#### 注意

GNDUをSWMに接続するには、必ず16493L GNDUケーブルを使用してください。標準のトライアキシャル・ケーブルは使用できません。GNDUケーブルは最大4.2 AのGNDU電流に対応していますが、標準のトライアキシャル・ケーブルの定格は1 Aまでです。

#### (非ケルビン接続)

図3.2のように、トライアキシャル・コネクタをGNDU用アダプタ（N1254A-107）を用いて接続します。このパーツについては、セクション1.6「アダプタ」の表1.10を参照してください。パーツ情報については表3.1を参照してください。

#### ケルビン接続

図3.3に示すように、デュアル・トライアキシャル・コネクタをGNDU-ケルビン・アダプタ（N1254A-100）を用いて接続します。このパーツについては、セクション1.6「アダプタ」の表1.10を参照してください。パーツ情報については表3.2を参照してください。ケルビン・トライアキシャル・ケーブルを使用した場合は、最大電流が制限されます。表3.2を参照してください。

図3.2. SWMとGNDUとの非ケルビン接続例

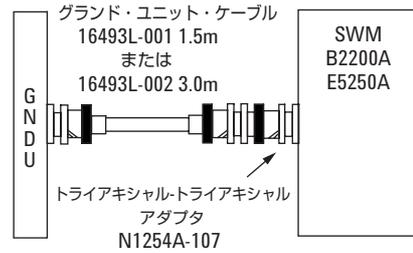


表3.1. パーツ情報

概要	数量	パーツ番号	製品
グラウンド・ユニット・ケーブル：1.5 m (最大4.2 A)	1	-	16493L-001
グラウンド・ユニット・ケーブル：3.0 m (最大4.2 A)	1	-	16493L-002
GNDU用アダプタ(トライアキシャル(オス) - トライアキシャル(メス))	1	1250-2654	N1254A-107

図3.3. SWMとGNDUとのケルビン接続例

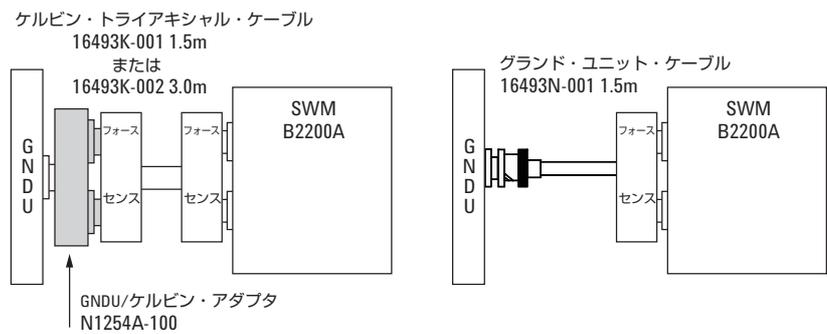


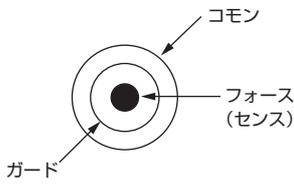
表3.2. パーツ情報

概要	数量	パーツ番号	製品
ケルビン・トライアキシャル・ケーブル：1.5 m (最大3.0 A)	1	-	16493K-001
ケルビン・トライアキシャル・ケーブル：3.0 m (最大2.6 A)	1	-	16493K-002
グラウンド・ユニット・ケーブル：1.5 m	1	-	16493N-001
GNDU-ケルビン・アダプタ	1	-	N1254A-100

### 3.2. SMU

SMU端子を図3.4に示します。

図3.4. SMU端子



#### ケルビン接続

ケルビン接続の場合は、16493Kケルビン・トライアキシャル・ケーブル (B2200A/B2201A用) を図3.5のように接続します。1本のケルビン・トライアキシャル・ケーブルの代わりに、2本の16494Aトライアキシャル・ケーブルを使用することもできます。

フォース・ラインとセンス・ラインを別々にポートに接続します。

#### 非ケルビン接続

非ケルビン接続の場合は、16494Aトライアキシャル・ケーブルをSMUとSWMの間に図3.6のように接続します。

### 3.3. MFCMU

B1500AのMFCMUは、図3.7に示すように、CMU入力ケーブルを用いてB2200A/B2201AのCMHおよびCMLポートに接続します。

図3.5. SWMとSMUとのケルビン接続例

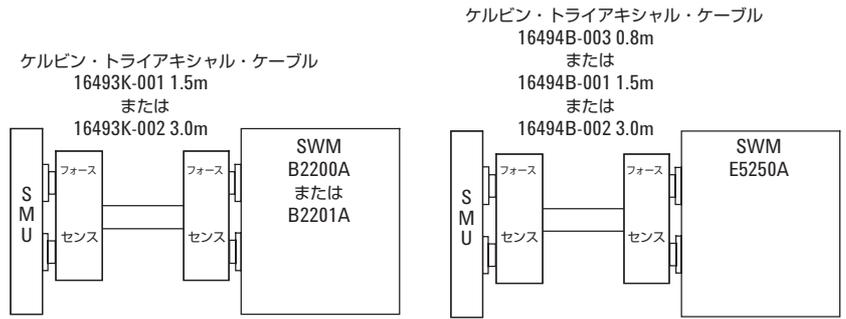


図3.6. SWMとSMUとの非ケルビン接続例

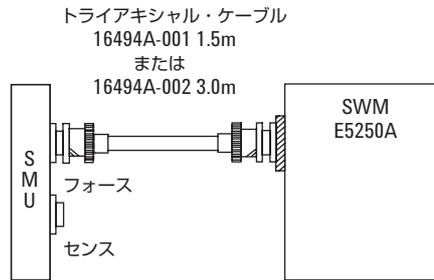
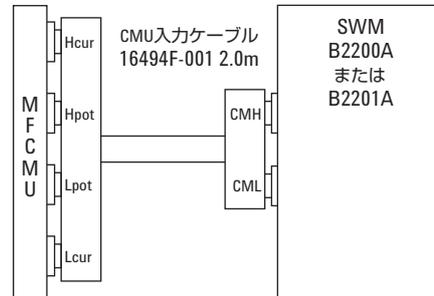


図3.7. SWMとMFCMUとの接続例

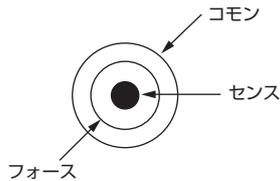


## 4. プロバとの接続

### 4.1. GNDU接続

SMUにはフォース（センス）、ガード、コモンがあるのに対して、GNDUには図4.1のようにセンス、フォース、コモンがあります。GNDUを標準のトライアキシャル・コネクタに接続するには、GNDU-ケルビン・アダプタが必要です。

図4.1. GNDU端子



#### 注意

GNDUをコネクタ・プレートに接続するには、必ず16493L GNDUケーブルを使用してください。標準のトライアキシャル・ケーブルは使用できません。GNDUケーブルは最大4.2 AのGNDU電流に対応していますが、標準のトライアキシャル・ケーブルの定格は1 Aまでです。

#### 非ケルビン接続

図4.2のように、トライアキシャル・コネクタをGNDU用アダプタ（N1254A-107）を用いて接続します。このパーツについては、セクション5.6「アダプタ」の表5.10を参照してください。パーツ情報については表4.1を参照してください。

#### ケルビン接続

図4.3に示すように、デュアル・トライアキシャル・コネクタをGNDU-ケルビン・アダプタ（N1254A-100）を用いて接続します。このパーツについては、セクション5.6「アダプタ」の表5.10を参照してください。パーツ情報については表4.2を参照してください。ケルビン・トライアキシャル・ケーブルを使用した場合は、最大電流が制限されます。表4.2を参照してください。

図4.2. GNDUの非ケルビン接続例

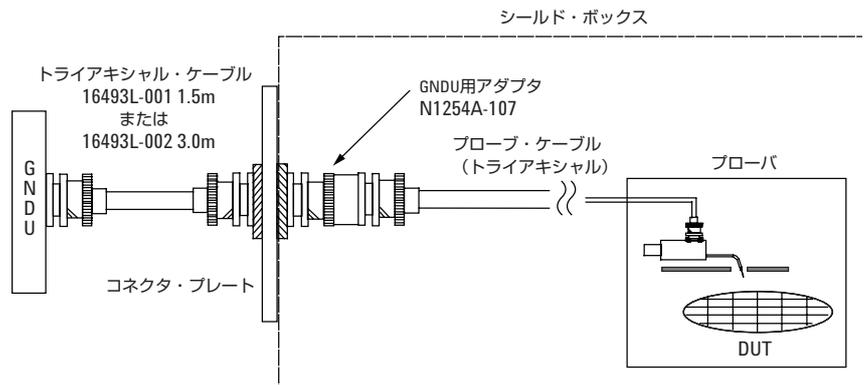


表4.1. パーツ情報

概要	数量	パーツ番号	製品
グラウンド・ユニット・ケーブル：1.5 m (最大4.2 A)	1	-	16493L-001
グラウンド・ユニット・ケーブル：3.0 m (最大4.2 A)	1	-	16493L-002
GNDU用アダプタ (トライアキシャル(オス) - トライアキシャル(メス))	1	1250-2654	N1254A-107

図4.3. GNDUのケルビン接続例

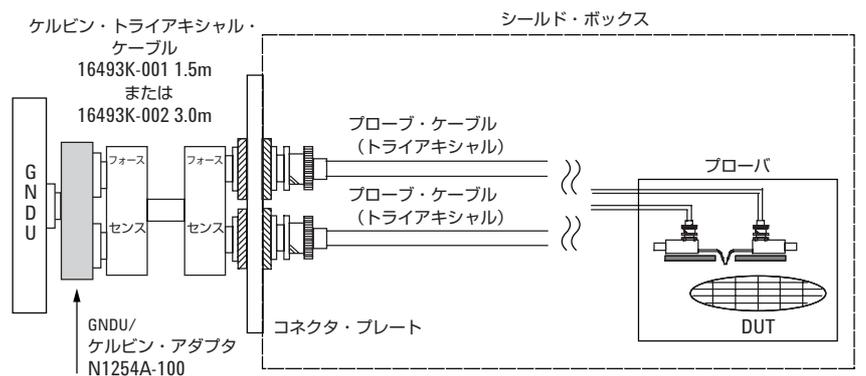


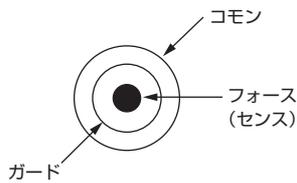
表4.2. パーツ情報

概要	数量	パーツ番号	製品
ケルビン・トライアキシャル・ケーブル：1.5 m (最大3.0 A)	1	-	16493K-001
ケルビン・トライアキシャル・ケーブル：3.0 m (最大2.6 A)	1	-	16493K-002
GNDU-ケルビン・アダプタ	1	-	N1254A-100

## 4.2. SMU/CMU接続

SMU端子を図4.4に示します。

図4.4. SMU端子



### ケルビン接続

以下の手順は、SMUからプローバまでのすべての接続がケルビン接続の場合です。この接続では、2本のプローブがウェーハに接触する必要があります。

16493Kケルビン・トライアキシャル・ケーブル（または2本の16494Aトライアキシャル・ケーブル）をSMTとコネクタ・プレート間に接続します。フォースおよびセンス・ラインを別々にプローブに接続します。

図4.5に示すようにプローブ・ケーブルのトライアキシャル・コネクタを接続します。発振を防ぐために、短いケーブルを使用してください。パーツ情報については表4.3を参照してください。

### 非ケルビン接続

以下の手順は、SMUからプローバまでのすべての接続が非ケルビン接続の場合です。16494Aトライアキシャル・ケーブルをSMUとコネクタ・プレート間に接続します。

図4.6に示すようにプローブ・ケーブルのトライアキシャル・コネクタを接続します。パーツ情報については表4.4を参照してください。

図4.5. SMUのケルビン接続例

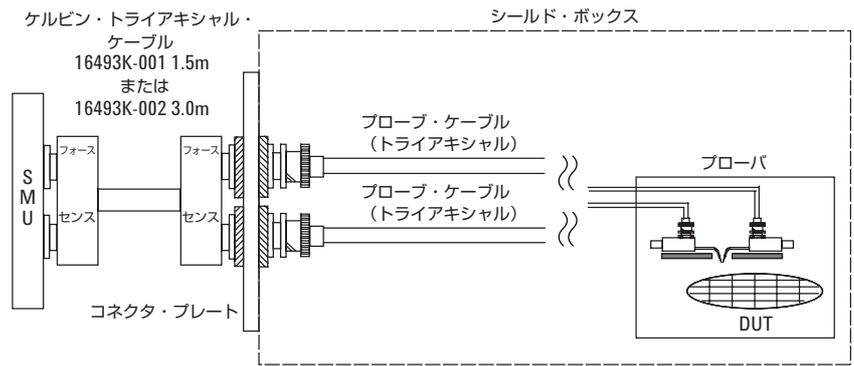


表4.3. パーツ情報

概要	数量	パーツ番号	製品
ケルビン・トライアキシャル・ケーブル: 1.5 m(最大3.0 A)	1	-	16493K-001
ケルビン・トライアキシャル・ケーブル: 3.0 m(最大2.6 A)	1	-	16493K-002

図4.6. SMUの非ケルビン接続例

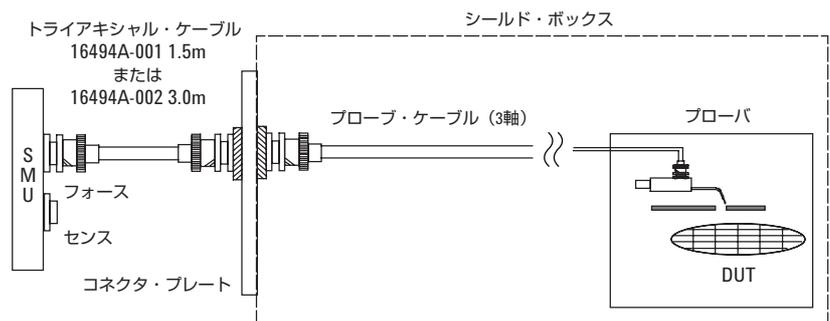


表4.4. パーツ情報

概要	数量	パーツ番号	製品
トライアキシャル・ケーブル: 1.5 m	1	-	16494A-001
トライアキシャル・ケーブル: 3.0 m	1	-	16494A-002

### ケルビン／非ケルビン接続

以下の手順は、コネクタ・プレートまでの接続がケルビンで、プローブが非ケルビン接続の場合です。

16493Kケルビン・トライアキシャル・ケーブル（または2本の16494Aトライアキシャル・ケーブル）をSMTとコネクタ・プレートに接続します。

図4.7に示すようにプローブ・ケーブルのトライアキシャル・コネクタを接続します。

トライアキシャルBNCティー・アダプタが使用して、プローブ入力端子のフォースとセンス・ラインを接続します。パーツ情報については表4.5を参照してください。

#### 注記：

ケーブルとティー・コネクタを図4.7のように接続する場合は、スペースの制約により、隣接するコネクタが使用不可能になります。ケルビン接続には3個のコネクタが必要なので、コネクタ・プレートを使用する必要があります。アプリケーションに応じて適切なコネクタ・プレートを選択してください。2つのケルビン接続には、16495Hを使用します。3つのケルビン接続には、16495Jを使用します。

図4.7. SMUケルビン／非ケルビン接続の例

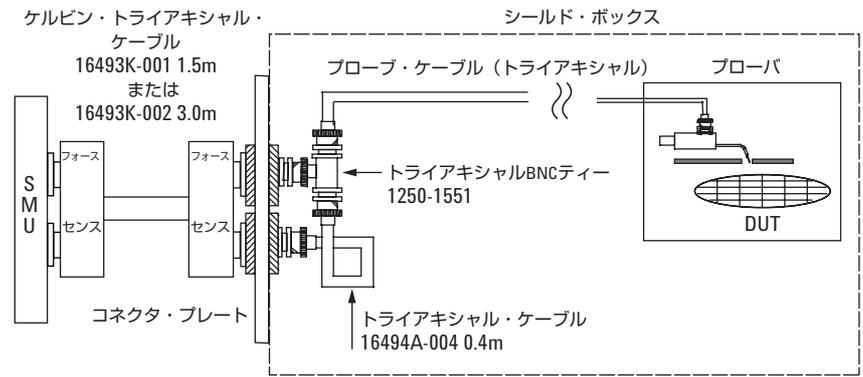


表4.5. パーツ情報

概要	数量	パーツ番号	製品
ケルビン・トライアキシャル・ケーブル：1.5 m	1	-	16493K-001
ケルビン・トライアキシャル・ケーブル：2 m	1	-	16493K-002
トライアキシャル・ケーブル：0.4 m	1	-	16494A-004
トライアキシャル・ティー・コネクタ	1	1250-1551	-

## ASU接続

各ASUには、1本のDsubケーブル、1本のトリアキシャル・ケーブル、(オプションで)2本の同軸ケーブルを接続します。ケーブルはシールド・ボックス内部で16495KプレートからASUに接続します。

ASU出力は、図4.8に示すようにトリアキシャル・ケーブルを用いてDUTに接続します。

SMUを用いてIV測定を行う場合は、すべての測定がケルビンです。センス・ラインの情報はDsubケーブル経由でSMUにフィードバックされます。

CV測定では、4端子対(4TP)接続はASU内部で正しく終端されます。ASUでは、外部導体の間に電流帰還経路を設けることにより、直列インダクタンスを安定化し、確度を向上できます。この機能を有効にするには、2台のASUを付属のワイヤで接続する必要があります。

図4.8. ASUの接続例

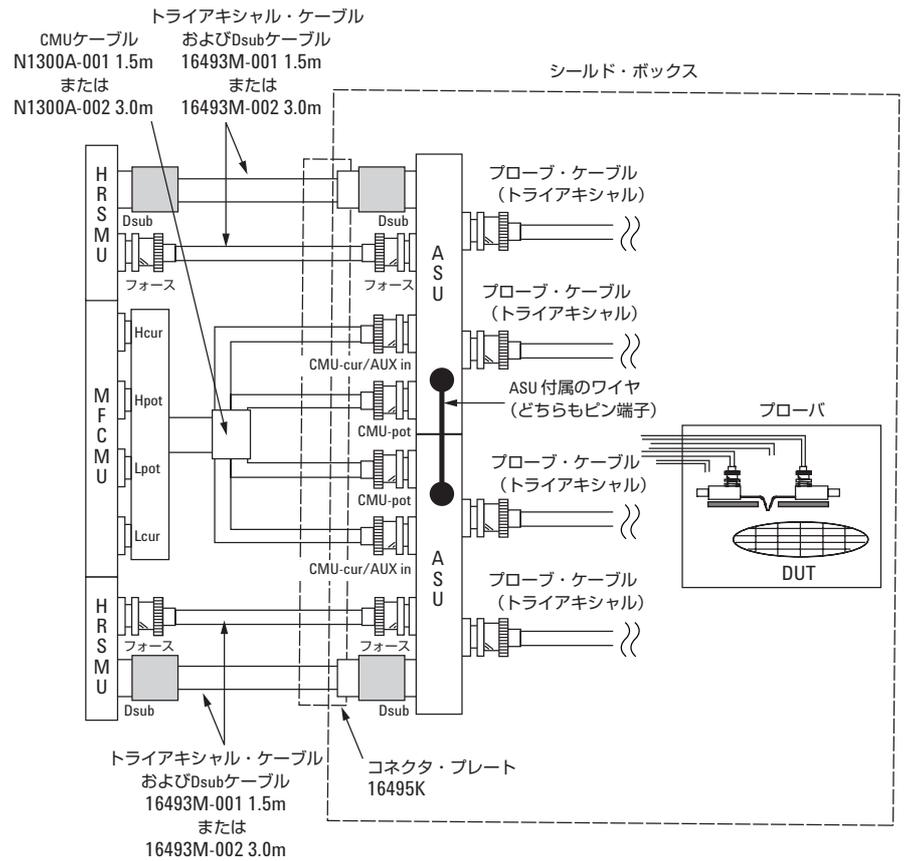


表4.5. パーツ情報

概要	数量	パーツ番号	製品
ASU用トリアキシャル・ケーブルおよびDsubケーブル：1.5 m	2	-	16493M-001
ASU用トリアキシャル・ケーブルおよびDsubケーブル：3.0 m	2	-	16493M-002
B1500A用CMUケーブル：1.5 m	1	-	N1300A-001
B1500A用CMUケーブル：3.0 m	1	-	N1300A-002
コネクタ・プレート	1	-	16495K

**SCUUポジショナのプロービング・モード**  
 SCUUは、図4.9に示すようにトリアキシャル・ケーブルを用いてDUTに接続します。

SMUでIV測定を行う場合は、SCUUの出力はSMUのケルビン出力と全く同じ動作をします（フォース・ラインとセンス・ラインの両方が使用可能）。

注記：図4.9ではセンス・ラインは使用していません。

MFCMUでCV測定を行う場合は、SCUUのフォース出力だけを使用します。SCUUのフォース出力1はCMHに対応し、SCUUのフォース出力2はCMLに対応します。

SCUUはSCUUマグネット・スタンド (N1301A-110) を用いてプローバに固定できます。

図4.9. SCUUリモート・ドocking・モードの例

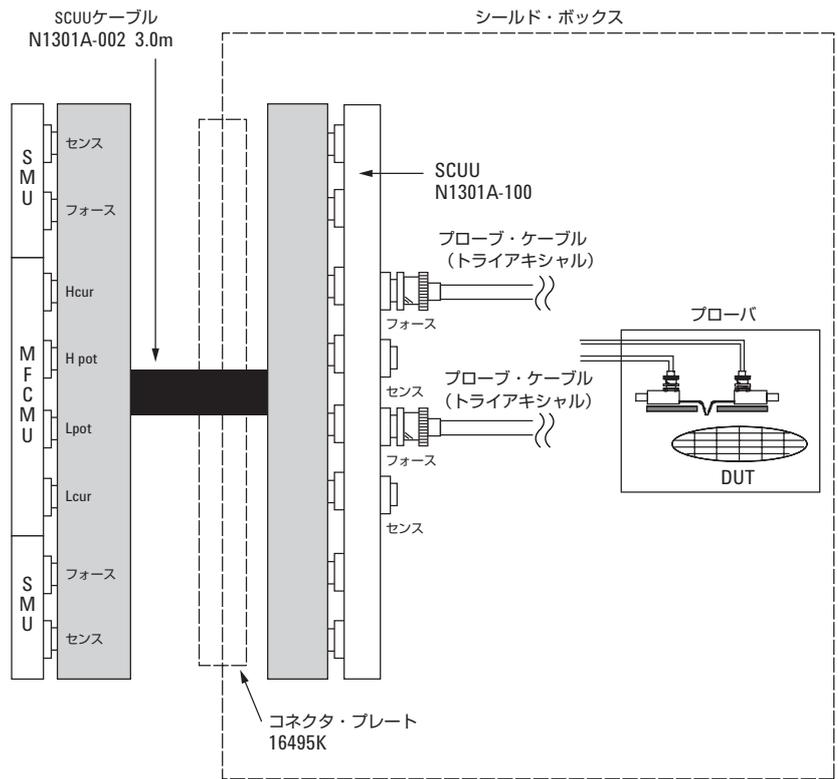


表4.9. パーツ情報

概要	数量	パーツ番号	製品
SMU CMUユニファイ・ユニット (SCUU)	1	-	N1301A-100
SMU CMUユニファイ・ユニット・ケーブル (3.0 m)	1	-	N1301A-102
コネクタ・プレート	1	-	16495K

## 5. アクセサリ

### 5.1 CMUアクセサリ

B1500Aにはマルチ周波数キャパシタンス測定ユニット（MFCMU）があります。以下に示す2種類のCMU接続があります。

- 標準の4端子対（4TP）接続
- SCUUポジションナのプロービング・モード

状況に応じて接続のタイプを選択できます。

図5.1. 標準の4端子対（4TP）

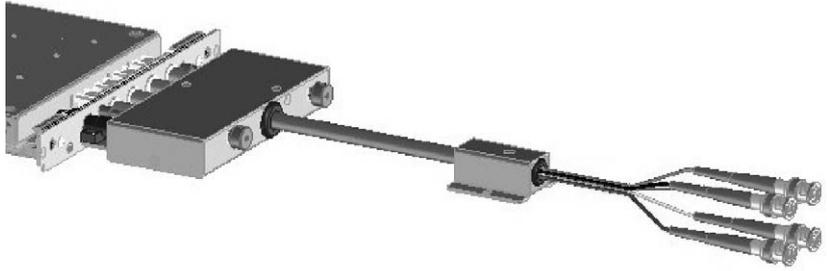
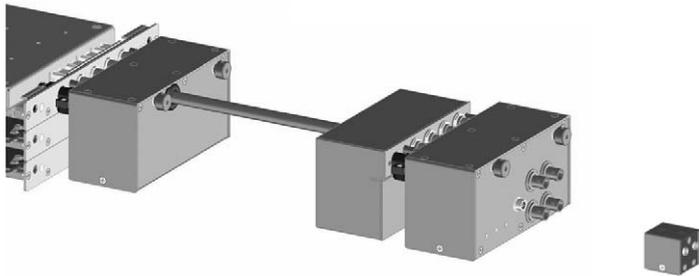
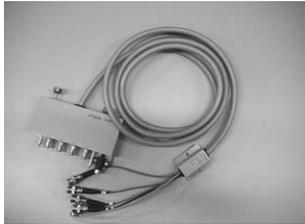


図5.2. SCUUポジションナのプロービング



N1300A-001/N1300A-002



16494F-001



N1301A-100



N1301A-100



N1301A-100



N1301A-102



SCUU+SCUUケーブル、GSWU



N1301A-110



SCUU+SCUUマグネット



N1301A-200



N1301A-201



GSWU用ピン・ケーブル



GSWU+GSWUケーブル



表5.2. CMUアクセサリ・リスト

モデル番号	概要	備考
N1300A	B1500A用CMUケーブル	
N1300A-001	B1500A用CMUケーブル (1.5 m)	
N1300A-002	B1500A用CMUケーブル (3.0 m)	
N1301A	B1500用CMUアクセサリ	
N1301A-100	SMU CMUユニファイ・ユニット (SCUU)	
N1301A-102	SMU CMUユニファイ・ユニット・ケーブル (3 m)	
N1301A-110	SCUUマグネット・スタンド	ブローバ上面などにSCUUを固定するために使用
N1301A-200	ガード・スイッチ・ユニット (GSWU)	N1301A-201またはN1301A-202の指定が必要
N1301A-201	ガード・スイッチ・ユニット・ケーブル (1 m)	N1301A-200をオーダする場合はN1301A-201またはN1302A-202を指定してください。
N1301A-202	ガード・スイッチ・ユニット・ケーブル (3 m)	
16494F	CMU入力ケーブル	
16494F-001	CMU入力ケーブル (2 m)	

## 5.2. B1500Aの周辺機器

表5.3. B1500Aの周辺機器の概要

16444A-001



16444A-002



16444A-003



表5.4. B1500Aの周辺機器リスト

モデル番号	概要	備考
16444A	B1500Aアクセサリ	
16444A-001	USBキーボード	キーボードにはマウス・パッドとマウス・ポインタが付属します。
16444A-002	USBマウス	USBマウス
16444A-003	スタイラス・ペン	B1500Aタッチ・スクリーンと組み合わせて使用

### 5.3. コネクタ・タイプ

ケルビンSMUコネクタには2つのタイプがあります。測定器同士を接続する場合は、正しい種類のケルビン・トライアキシャル・ケーブルを使用する必要があります。

タイプAのコネクタには、2個のねじ、1本のガイド・ピン、2個のトライアキシャル端子があります。タイプBのコネクタには、1個のねじと2個のトライアキシャル端子があります。これらのコネクタは幅と厚さも異なります。

表5.5. 測定器コネクタ・タイプの概要

#### B1500A



#### タイプA



#### 4156C+41501B



#### タイプ



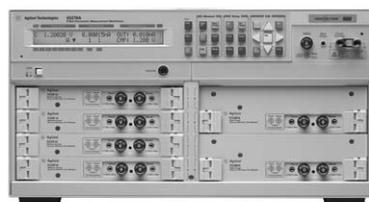
#### 4155C



#### 単一トライアキシャル



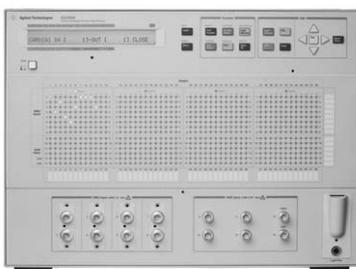
#### E5260A/E5270B



#### タイプA



#### B2200A/B2201A入力



#### タイプA



表5.5. 測定器コネクタ・タイプの概要、続き

B2200A/B2201A出力



タイプB



E5250A入力



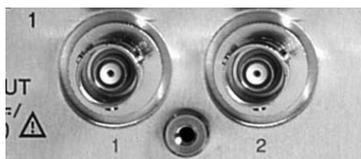
タイプB



E5250A出力 (E5252Aカード)



タイプB



16442A/B



タイプA



16493K/16494B/16493Nケーブル



タイプA



16494Bケーブル



タイプB



## 5.4. ケーブル

ソース・モニタ・ユニット (SMU) を DUT に接続するにはいくつかの方法があります。ケーブルにはさまざまな種類がありますが、大きく分けて次の3種類に分類されます。

トライアキシャル・ケーブルには、3つの層 (リード) があります。中心導体は信号用であり、中間導体はリーク電流を防ぐためにアクティブに中心導体と同じ電位に保たれ、外部導体はグラウンド (コモン) 用です。

ケルビン・トライアキシャル・ケーブルはトライアキシャル・ケーブルに似ていますが、SMUからのフォース・ラインとセンス・ラインが同じケーブルを通る点が異なります。フォース・ラインとセンス・ラインは、共通のドリブン・ガードと共通の外部シールドを使用します。ケルビン・トライアキシャル・ケーブルを使用すると、フォース・ラインとセンス・ラインに2本の別々のトライアキシャル・ケーブルを使用した場合に比べて、低電流測定性能が一般的に向上します。

GNDUケーブルは特殊なトライアキシャル・ケーブルで、グラウンド・ユニットに流れる大電流 (最大4.2 A) に対応するように設計されています。GNDUケーブルでは、中心導体がセンス、中間導体がフォース、外部導体がコモンです。

表5.6. SMUケーブルの概要

		16493K		16494B	
		ケルビン・トライアキシャル・ケーブル		ケルビン・トライアキシャル・ケーブル	
コネクタ・タイプ		タイプA		タイプA      タイプB	
SMU	B1500A	OK	OK	OK	不適
	E526X	OK	OK	OK	不適
	E527X	OK	OK	OK	不適
	415X	OK	OK	OK	不適
	41501	OK	OK	OK	不適
SWM入力	B220XA	OK	OK	OK	不適
	E5250A	不適	不適	不適	OK
SWM出力	B220XA	不適	不適	不適	OK
	E5250A	不適	不適	不適	OK
長さ	0.4 m	–	–	–	–
	0.8 m	–	–	16494B-003	–
	1.5 m	16493K-001	–	16494B-001	–
	3.0 m	16493K-002	–	16494B-002	–
	4.0 m	–	–	–	–

表5.6. SMUケーブルの概要、続き

		16493M		16494A		16493J	
							
		ASU用トライアキシャル/Dsubケーブル		トライアキシャル・ケーブル		インターロック・ケーブル	
コネクタ・タイプ		-		トライアキシャル		-	
SMU	B1500A	OK		OK		OK	
	E526X	-		OK		OK	
	E527X	OK		OK		OK	
	415X	-		OK		OK	
	41501	-		OK		-	
SWM入力	B220XA	-		OK		-	
	E5250A	-		OK		-	
SWM出力	B220XA	-		OK		-	
	E5250A	-		OK		-	
長さ	0.4 m	-		16494A-004		-	
	0.8 m	-		16494A-003		-	
	1.5 m	16493M-001		16494A-001		16493J-001	
	3.0 m	16493M-002		16494A-002		16493J-002	
	4.0 m	-		16494A-005		-	

表5.7. GNDUケーブルの概要

		16493N		16493L	
					
		グラウンド・ユニット・ケーブル		グラウンド・ユニット・ケーブル	
コネクタ・タイプ		タイプA	トライアキシャル	トライアキシャル	
GNDU	B1500A	-	OK	OK	
	E526X	-	OK	OK	
	E527X	-	OK	OK	
	415X	-	-	-	
	41501	-	OK	OK	
SWM入力	B220XA	OK	OK	OK	
	E5250A	不適	OK	OK	
SWM出力	B220XA	不適	OK	OK	
	E5250A	不適	OK	OK	
長さ	1.5 m	16493N-001		16493L-001	
	3.0 m	-		16493L-002	

## 5.5. コネクタ・プレート

以下のコネクタ・プレートは、Agilentのさまざまな半導体パラメトリック測定器（B1500、B2200/B2201、E5250、E5260/E5270、4155/4156、41501など）で使用できます。

プローバ・ベンダもコネクタ・プレートを提供しています。コネクタ・プレートに関する情報が必要な場合は、各プローバ・ベンダまでお問い合わせください。

コネクタ・プレートを固定するパーツが必要な場合は、表5.8を参照して、必要な数量をオーダーしてください（コネクタ・プレートの穴の数は4個です）。

表5.8. コネクタ・プレート固定用パーツ情報

概要	数量	パーツ番号	製品
ねじ	1	0515-0986	---
スプリング・ワッシャ	1	2190-0584	---
ターミナル・ワッシャ	1	3050-0891	---
ナット	1	0535-0031	---

表5.9. コネクタ・プレート

### 16495F：マトリクス用ハーフ・サイズ・コネクタ・プレート

16495F-001には、12個のトライアキシャル・スルー・コネクタ（メス-メス）、1個のインターロック・コネクタ、1個のGNDUコネクタ（トライアキシャル・スルー、メス-メス）があります。インターロック・コネクタの背面は、はんだ付け用に設計されています。

16495F-002には、12個のトライアキシャル・コネクタ、1個のインターロック・コネクタ、1個のGNDUコネクタがあります。各コネクタの背面は、はんだ付け用に設計されています。

### 16495G：マトリクス用フル・サイズ・コネクタ・プレート

16495G-001には、24個のトライアキシャル・スルー・コネクタ（メス-メス）、1個のインターロック・コネクタ、1個のGNDUコネクタ（トライアキシャル・スルー、メス-メス）があります。インターロック・コネクタの背面は、はんだ付け用に設計されています。

16495G-002には、24個のトライアキシャル・コネクタ、1個のインターロック・コネクタ、1個のGNDUコネクタがあります。各コネクタの背面は、はんだ付け用に設計されています。

### 16495H：アナライザ用ハーフ・サイズ・コネクタ・プレート

16495H-001には、6個のトライアキシャル・スルー・コネクタ（メス-メス）、6個のBNCスルー・コネクタ（メス-メス）、1個のインターロック・コネクタ、1個のGNDUコネクタ（トライアキシャル・スルー、メス-メス）があります。インターロック・コネクタの背面は、はんだ付け用に設計されています。

16495H-002には、6個のトライアキシャル・コネクタ、6個のBNCコネクタ、1個のインターロック・コネクタ、1個のGNDUコネクタがあります。各コネクタの背面は、はんだ付け用に設計されています。

### 16495J：アナライザ用ハーフ・サイズ・コネクタ・プレート

16495J-001には、8個のトライアキシャル・スルー・コネクタ（メス-メス）、4個のBNCスルー・コネクタ（メス-メス）、1個のインターロック・コネクタ、1個のGNDUコネクタ（トライアキシャル・スルー、メス-メス）があります。インターロック・コネクタの背面は、はんだ付け用に設計されています。

16495J-002には、8個のトライアキシャル・コネクタ、4個のBNCコネクタ、1個のインターロック・コネクタ、1個のGNDUコネクタがあります。各コネクタの背面は、はんだ付け用に設計されています。

### 16495K：ユニバーサル・ケーブル・ホルダ付きハーフ・サイズ・コネクタ・プレート

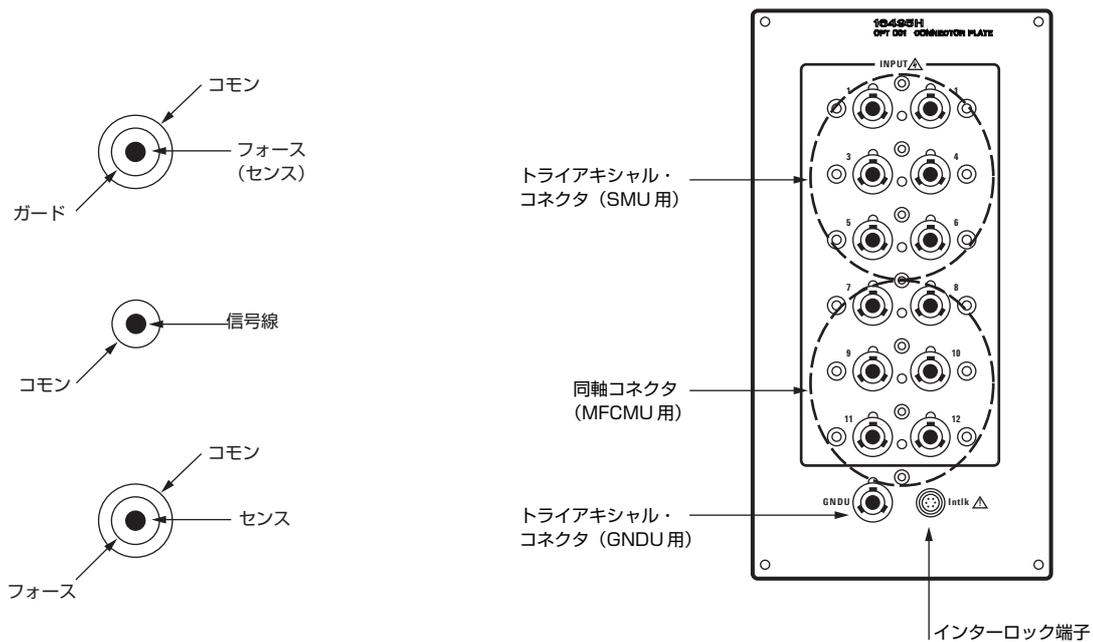
16495K-001にはコネクタはありません。このプレートには、ケーブル穴と、ケーブル穴から光が入るのを防ぐゴム付きのカバーが装備されています。このプレートは、E5288Aアット・センス/スイッチ・ユニット（ASU）またはN1301A-200ガード・スイッチ・ユニット（GSWU）をシールド・ボックス内にインストールする際に使用します。

ケーブル穴は、ASUまたはGSWUからのケーブルをB1500A、E5270Bなどの測定器まで通すためのものです。ケーブルは、ゴム付きカバーでケーブル穴の開閉部を封鎖することにより、シールド・ボックスに固定されます。



図5.3. コネクタ・プレートの正面図と背面図

A. 正面図



B. 背面図

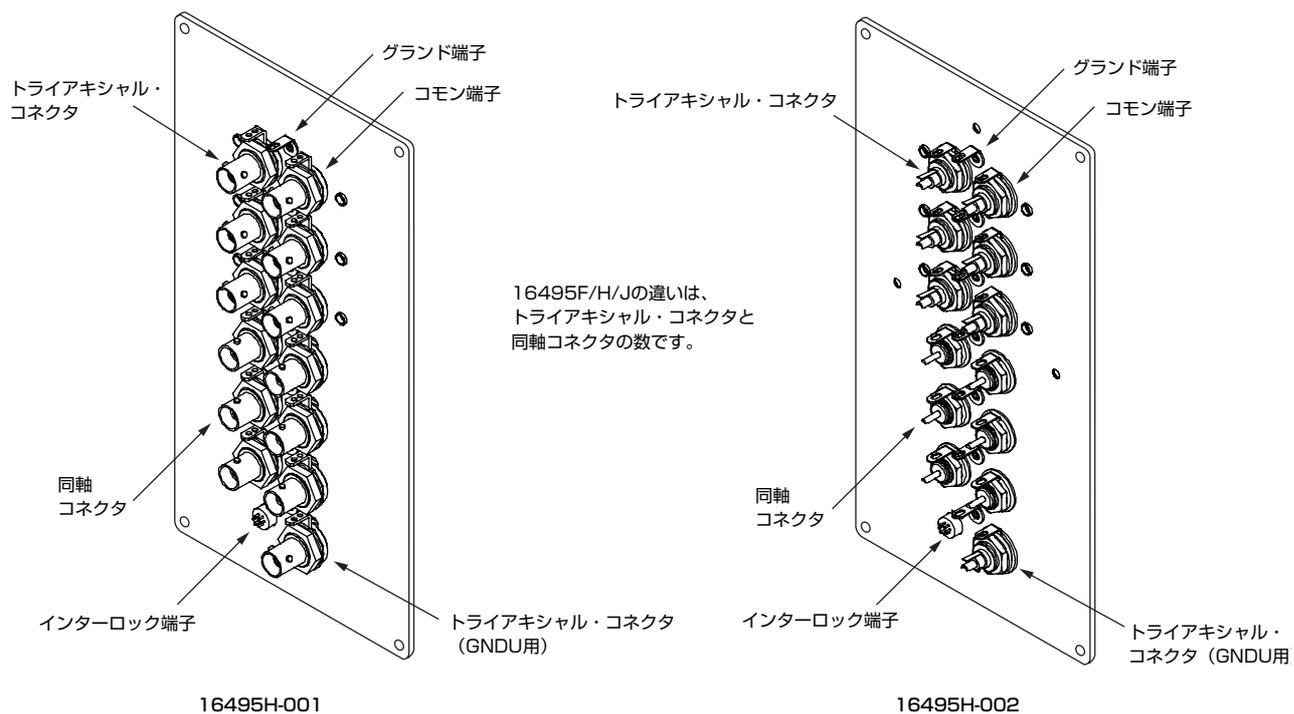
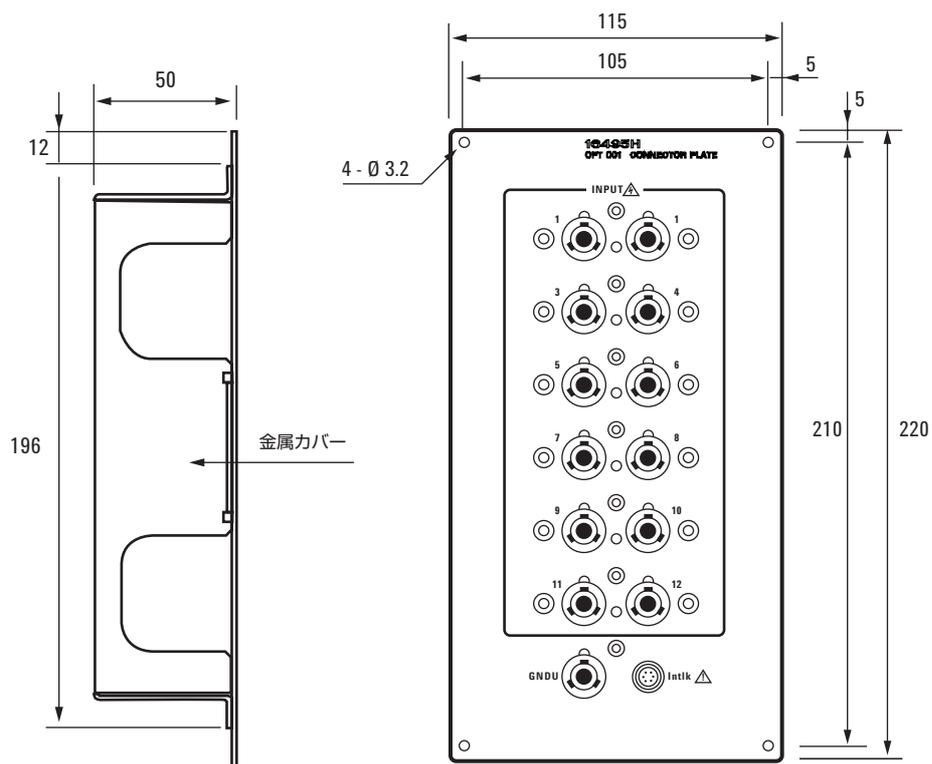


図5.4. コネクタ・プレートの寸法 (16495F/H/J)



単位：mm

16495H-002  
 (16495F/H/Jの違いは、トライアキシャル・コネクタと同軸コネクタの数です)

注記：金属カバーは感電事故を防ぐためのものです。  
 金属カバーは 16495 F/G/H/J-002 だけに付属します。

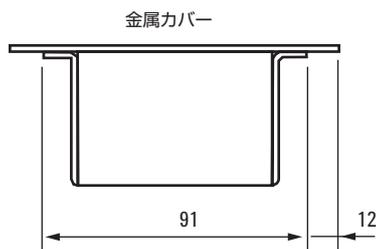
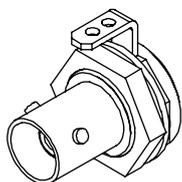
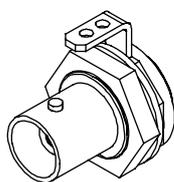


図5.5. コネクタ・プレートの接続タイプ (背面)

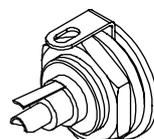


トライアキシャル



同軸

A. コネクタ・タイプ (16495F/G/H/J-001)



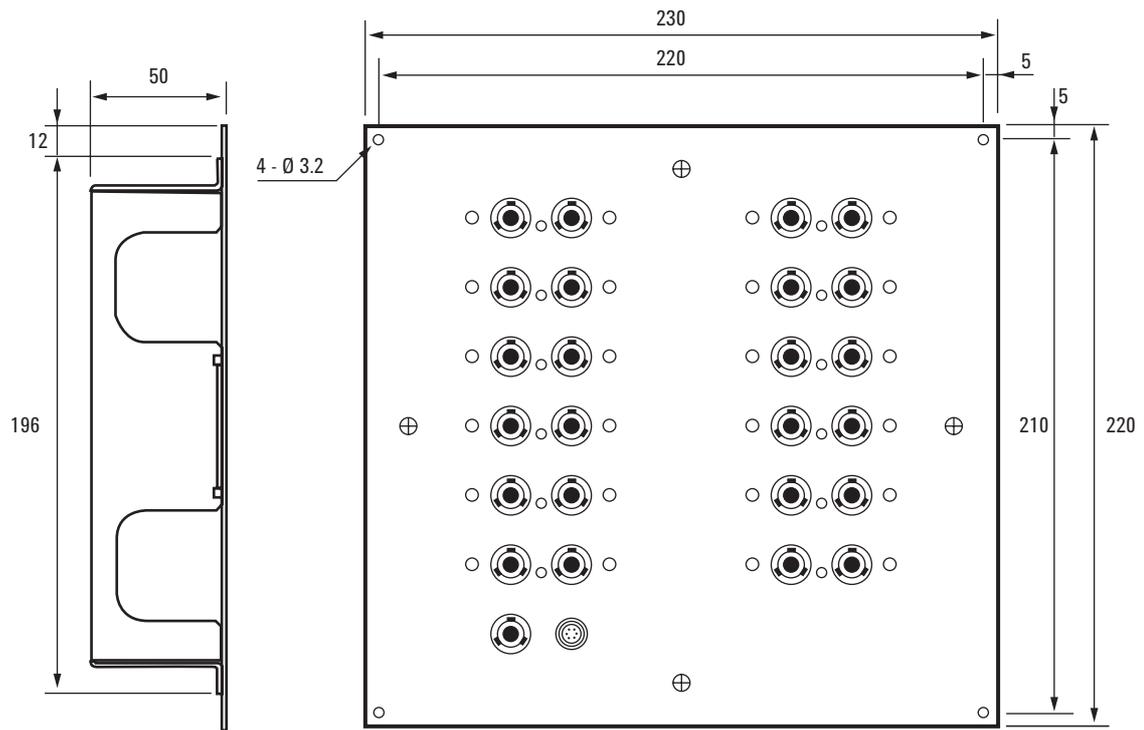
トライアキシャル



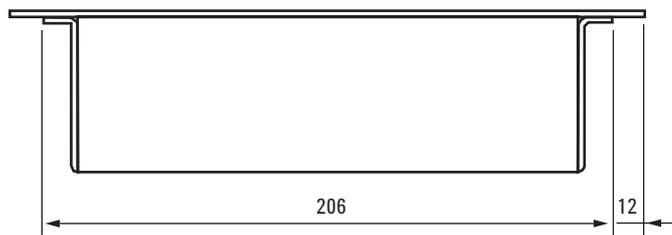
同軸

B. はんだ付けタイプ (16495F/G/H/J-002)

図5.6. コネクタ・プレートの寸法 (16495G)



単位 : mm



## 5.6. アダプタとコネクタ

トライアキシャル・コネクタと同軸コネクタとを接続する場合は、トライアキシャル-同軸アダプタを使用します。

表5.10に、Agilentが提供するアダプタの情報を示します。ここにはないアダプタが必要な場合は、最寄りのパーツ・ベンダまでお問い合わせください。

### 警告

測定を行う際には、必ずシールド・ボックスとインターロックを使用してください。

表5.10のアダプタは、ガード・ラインがコネクタまたはアダプタの外部導体に接続される場合には使用しないでください。ガード・ラインとコネクタまたはアダプタの外部導体とが接続されるので、ガード端子の電位が出力電圧と等しくなり、アダプタやコネクタで高電圧による感電事故が発生する可能性があります。

表5.10. パーツ情報

モデル番号	概要	数量	パーツ番号	図
N1254A-100	GNDU-ケルビン・アダプタ	1	-	
N1254A-101	トライアキシャル (オス) - 同軸 (メス)	1	1250-2648	
N1254A-102	トライアキシャル (メス) - 同軸 (オス)	1	1250-2649	
N1254A-003	トライアキシャル (オス) - 同軸 (メス)	1	1250-2650	
N1254A-104	トライアキシャル (メス) - 同軸 (オス)	1	1250-2651	
N1254A-105	トライアキシャル (メス) - 同軸 (オス)	1	1250-2652	
N1254A-106	トライアキシャル (オス) - 同軸 (メス)	1	1250-2653	
N1254A-107	トライアキシャル (オス) - トライアキシャル (メス)	1	1250-2654	

メモとしてお使いください

メモとしてお使いください

メモとしてお使いください

## パラメトリック・テストWebサイト

[www.agilent.co.jp/find/parametrics](http://www.agilent.co.jp/find/parametrics)

詳細情報とカタログについては、パラメトリック・テストWebサイトをご覧ください。



### 電子計測UPDATE

[www.agilent.co.jp/find/emailupdates-Japan](http://www.agilent.co.jp/find/emailupdates-Japan)

Agilentからの最新情報を記載した電子メールを無料でお送りします。

## 確実なサービス

修理／校正サービスは機器を新品同様の動作状態に戻し、お約束した納期に短期間で返却いたします。Agilentでは、Agilent機器を十分活用できるように、さまざまなサポートを提供しています。またAgilentの技術者による最新の工場校正、自動修理診断、純正部品を使用したサービスを受けられます。さらに、必要に応じて、工場の専門家にもアクセスできます。これは測定に対する最高の信頼性を意味し、不安感を抱くことなく、Agilentの修理／校正サービスを利用できます。

Agilentでは、デザイン／システム・インテグレーション／プロジェクト管理に加えて、最初のスタートアップ・アシスタンス、オンサイト教育／トレーニングなどの、機器に対するさまざまなテスト／測定サービスを提供しています。

修理／校正サービスの詳細情報については、以下をご覧ください。

[www.agilent.co.jp/find/removealldoubt](http://www.agilent.co.jp/find/removealldoubt)

## アジレント・テクノロジー株式会社

本社〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

## 計測お客様窓口

受付時間 9:00-19:00 (土・日・祭日を除く)

**FAX、E-mail、Webは24時間受け付けています。**

TEL ■■■ 0120-421-345  
(042-656-7832)

FAX ■■■ 0120-421-678  
(042-656-7840)

Email [contact\\_japan@agilent.com](mailto:contact_japan@agilent.com)

電子計測ホームページ  
[www.agilent.co.jp](http://www.agilent.co.jp)

- 記載事項は変更になる場合があります。  
ご発注の際はご確認ください。

Copyright 2007  
アジレント・テクノロジー株式会社



Agilent Technologies

March 19, 2007  
5989-5695JAJP  
0000-00DEP